

「武家の古都・鎌倉」の世界文化遺産推薦について

1. 名称

「武家の古都・鎌倉」 “Kamakura, Home of the SAMURAI”

2. 所在地

神奈川県 横浜市・鎌倉市・逗子市

3. 暫定一覧表記載年

平成4(1992)年

4. 共同推薦省庁

文化庁及び国土交通省

5. 概要

「武家の古都・鎌倉」は、以下に記す観点から顕著な普遍的価値を有する。

戦士階級に属した武家が、12世紀末の日本において古代社会の貴族支配から中世・近世へと続く武家支配への移行という大変革をもたらした政権を樹立し、その構築・運営した政治支配体制の中から武家文化を生みだしたことを示す物証である。

武家は、日本における時代の大転換期に、要害的地形をなす後背山稜の崖地及び谷戸を切削・造成し、そこに重要な施設を機能的に配置し、政権支配・防御の構造を創り出すことによって、山稜部と一体となった稀に見る政権所在地の類型を形成した。

「武家の古都・鎌倉」の顕著な普遍的価値

評価基準(iii) 武家政権発足の地、武家文化創出を表す証拠

- ・世襲制による職業的戦士階級を出自とする武家集団による支配
- ・禅宗寺院などの中国文化との交流・摂取
- ・茶・禅などの文化的伝統の醸成

評価基準(iv) 山稜部と一体となった稀に見る政権所在地の類型

- ・「三方を山に囲まれ、一方が海に開く」要害の地
- ・切通、やぐら等独特な土木的施工による造成の痕跡
- ・神社・居館等の機能的配置

6. 資産の保護措置

文化財保護法及び古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法(古都保存法)

7. 構成資産一覧

構成資産名	重要な要素 (括弧内は内包される記念工作物等)	種別	地形属性
構成資産1	鶴岡八幡宮(若宮大路、上宮、摂社若宮) (つるがおかはちまんぐう(わかみやおおじ、じょうぐう、せっしゃわかみや))	神社	山 稜 部
	寿福寺(じゅふくじ)	寺院	
	建長寺(庭園、山門、仏殿、法堂、昭堂、大覚禅師塔、朱垂木やぐら群) (けんちょうじ(ていえん、さんもん、ぶつでん、はつとう、しょうどう、だいがくぜんじとう、しゅだるきやぐらぐん))	寺院	
	瑞泉寺(庭園)(ずいせんじ(ていえん))	寺院	
	鎌倉大仏(かまくらだいぶつ)	寺院	
	覚園寺(百八やぐら群)(かくおんじ(ひやくはちやぐらぐん))	寺院	
	仏法寺跡(ぶつぽうじあと)(構成資産2に所在する極楽寺に含まれる)	(寺院跡)	
	永福寺跡(ようふくじあと)	寺院跡	
	法華堂跡(ほっけどうあと)	寺院跡	
	北条氏常盤亭跡(ほうじょうしときわのていあと)	武家館跡	
	亀ヶ谷坂(かめがやつざか)	切通	
	仮粧坂(けはいざか)	切通	
	大仏切通(だいぶつきりどおし)	切通	
構成資産2	極楽寺(ごくらくじ)(構成資産1に所在する仏法寺跡を含む)	寺院	部
構成資産3	円覚寺(庭園、舍利殿)(えんがくじ(ていえん、しゃりでん))	寺院	
構成資産4	浄光明寺(じょうこうみょうじ)	寺院	
構成資産5	荏柄天神社(えがらてんじんしゃ)	神社	
構成資産6	朝夷奈切通(あさいなきりどおし)	切通	
構成資産7	東勝寺跡(とうしょうじあと)	寺院跡	
構成資産8	名越切通(まんだら堂やぐら群) (なごえきりどおし(まんだらどうやぐらぐん))	切通	
構成資産9	称名寺(しょうみょうじ)	寺院	
構成資産10	和賀江嶋(わかえのしま)	港跡	

8. 構成資産面積及び緩衝地帯面積

構成資産面積 577.2ha

緩衝地帯面積 1466.0ha

合計 2043.2ha